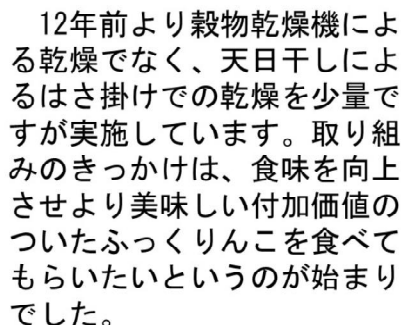


北海道大野農業高等学校 水稻班 班長 佐藤源 他7名

私たちの住む北斗市は農業、漁業の第1次産業が基幹産業です。また、1658年に道内で初めて稲作が行われた北海道水田発祥の地です。また、北斗市を含む道南は函館をはじめとし観光業も盛んな地域です。

水田発祥の地碑

昨年の肥料高騰や、輸入肥料の入手困難な状況から、食料システム戦略も意識し、北斗市の生ゴミなどから製造した有機肥料「かんとリースーパームらい」（未来環境社製）を、元肥のみ窒素成分で50%使用し栽培を試みました。この取り組みで下（図1）のようなサイクルが完成しています。



天日乾燥（はさ掛け）

現在はドローンによる防除などスマート農業との組み合わせで経営の改善や、食味向上による米の消費拡大なども目指しています。

本校では2020年よりドローンによる水稲防除を行っています。初年は企業からお借りした機材で自分たちで散布、2021年からは農薬会社に散布を依頼して実施しています。



ドローンによる防除

現在は通常散布のみです
が、スポット防除などの依頼が可能になれば、スポット防除を依頼し、農薬の使用量減少を目指し、環境に優しい農業を目指します。

販売会ではバイオマスマーク認定の買い物袋を

販売会ではマイバック持参をお願いしますが、使うレジ袋は、バイオマス成分を25%含まれたものを使用します。「CO2排出量削減」「石油資源削減」を目指します。

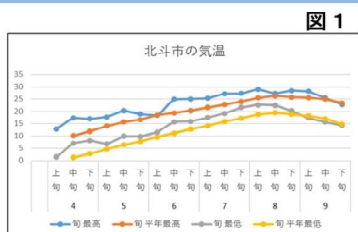


图 1



图 2

图 3

環境問題の解決には、その地域の発展は欠かせないものと考えています。今回の有機肥料の利用で消費者・食物残渣・農業のサイクルは目標が見えました。しかし私たちの住む道南は観光業も盛んなところです。観光業も巻き込んだサイクルが完成し、地域産業の活性化があってはじめて地域全体で観光問題に取り組めると思います。

自分たちの産業だけでなく他産業も含めたサイクルの完成が私たちの目標です。

